

平成 21 年度事業報告書

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

社団法人組込みシステム技術協会

【目次】

I.	法人の概況	1
II.	総括	5
III.	会務の概況	7
IV.	本部活動	12
V.	支部事業報告	23

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和61年8月7日

2. 定款に定める目的

本会は、組込みシステム業（マイクロエレクトロニクスの技術を応用した製品とこれを用いたシステムの開発、製造及び販売の事業をいう。以下同じ。）におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する標準化の推進、権利の保護、調査研究等を行うことにより、組込みシステム業の技術の向上と利用者の利便性を高め、もってわが国産業の健全な発展及び国民生活の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 組込みシステム業におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する標準化の推進
- (2) 組込みシステム業におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に係る権利保護に関する調査研究
- (3) 組込みシステム業に関する調査研究
- (4) 組込みシステム業におけるマイクロエレクトロニクス応用技術に関する研修会、研究会等の開催
- (5) 組込みシステム業に関する内外関係機関との連絡協調
- (6) 組込みシステム業のマイクロエレクトロニクス応用技術に関する普及啓発
- (7) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課

5. 日本標準産業分類

G3912 組込みソフトウェア業

6. 会員の状況

(平成22年3月31日現在)

種 類	当 期 末	前 期 末	前期末比増減
正 会 員	182 社	173 社	+ 9 社
賛助会員	32 社	35 社	- 3 社
合 計	214 社	208 社	+ 6 社

7. 主たる事務所・支部の状況

(主たる事務所) 東京都中央区日本橋浜町 1-8-12
東実年金会館 8 階

(支 部)

北海道支部 札幌市中央区北 2 条西 3 丁目- 1
札幌ビルディング 4F

東京支部 東京都中央区日本橋浜町 1-8-12
東実年金会館 8 階

中部支部 名古屋市熱田区六番 3-4-41
(財)名古屋市工業技術振興協会内

北陸支部 福井市川合鷺塚町 61 字北稲田 10
(社)福井県情報システム工業会内

近畿支部 大阪市西区靱本町 1-8-4
(財)大阪科学技術センター内

九州支部 福岡市早良区百道浜 2-1-22-904
福岡 SRP センタービル

8. 役員等に関する事項

別紙のとおり

9. 職員に関する事項

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
3 名	0	47 歳 3 ヶ月	11 年 10 ヶ月

10. 許認可に関する事項

特になし

<別紙>

社団法人 組込みシステム技術協会 役員・顧問
(平成 21～22 年度)

(役職)	(支部)	(氏 名)	(常勤・非常勤)	(担当職務・会社名等)
会長	中部	松尾 隆徳	非常勤	東洋電機(株)
副会長	東京	長谷川恵三	非常勤	(株)セントラル情報センター
副会長	東京	崎詰 素之	非常勤	技術本部長／(株)シーズ
副会長	東京	塚田 英貴	非常勤	運営本部長／(株)エヌデーデー
副会長	東京	藤木 優	非常勤	ET 事業本部長／(株)プライセン
副会長	近畿	杉本 浩	非常勤	教育事業本部長／スキルインフォメーションズ(株)
常任理事	北海道	中野 隆司	非常勤	北海道支部長／(株)北斗電子
常任理事	東京	鈴木 茂昭	非常勤	アストロデザイン(株)
常任理事	東京	北原 慎庸	非常勤	(株)ビッツ
常任理事	東京	築田 稔	非常勤	(株)コア
常任理事	中部	水谷多嘉士	非常勤	中部支部長／東海ソフト(株)
常任理事	中部	佐藤 博昭	非常勤	萩原電気(株)
常任理事	北陸	進藤 哲次	非常勤	北陸支部長／(株)ネスティ
常任理事	近畿	杉山 久志	非常勤	近畿支部長／(株)暁電機製作所
常任理事	近畿	大石 正則	非常勤	(株)シー・シェルコーポレーション
常任理事	九州	松尾 正博	非常勤	九州支部長／マイクロコート(株)
常任理事	九州	石井 四郎	非常勤	(株)デンケン
常任理事	(員外)	門田 浩	非常勤	日本電気(株)
常任理事	(員外)	鈴木 龍一	常勤	事務局長／(社)組込みシステム技術協会
理事	東京	馬場 民準	非常勤	ガイオ・テクノロジー(株)
理事	東京	宇賀神 孝	非常勤	アンドール システム サポート(株)
理事	東京	月原 優	非常勤	(株)東電ユークエスト
理事	東京	竹岡 尚三	非常勤	(株)アックス
理事	東京	郡山 龍	非常勤	(株)アプリックス
理事	東京	梶 一哉	非常勤	アイ・メットエレクトロニクス(株)
理事	東京	山田 敏行	非常勤	横河デジタルコンピュータ(株)
理事	東京	秋保 政一	非常勤	アルパイン(株)技術本部
理事	東京	漆原 憲博	非常勤	(株)ジェーエフピー
理事	東京	大橋 憲司	非常勤	東京支部長／(株)イーソルエンベックス
理事	東京	河井 研介	非常勤	東芝システムテクノロジー(株)
理事	東京	代市 昇	非常勤	東信システムハウス(株)
理事	東京	中村 憲一	非常勤	アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド
理事	東京	安永 登	非常勤	情報技術開発(株)
理事	中部	坂井 裕	非常勤	(株)ユタカ電子
理事	(員外)	飯塚 悦功	非常勤	東京大学
理事	(員外)	中島 達夫	非常勤	早稲田大学
理事	(員外)	片岡 正俊	非常勤	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
理事	(員外)	兼本 茂	非常勤	会津大学
理事	(員外)	福田 晃	非常勤	九州大学
監事	(員外)	宇田川重雄	非常勤	宇田川公認会計士事務所

監事 近畿 小幡 忠信 非常勤 アルカディアシステムズ(株)

顧問 種村 良平 非常勤 (株)コア
参与 大原 茂之 非常勤 東海大学

理事： 39 人（内訳：会長 1 人、副会長 5 人、常任理事 13 人、理事 20 人）

監事： 2 人

顧問： 1 人

参与： 1 人

Ⅱ. 総括

平成 21 年度の組込みシステム技術協会は、“JASA ヴィジョン 2009”を踏まえ、経済環境の悪いときこそチャンスありとの理念より、会員企業の協業力を高めるべく、委員会活動を通して様々な事業を展開した。

運営本部活動では長年の懸案でありました東北支部設立（平成 22 年 4 月 1 日付）と、中国ソフトウェア産業協会（CSIA）との協定書の締結を実現した。

教育事業本部では昨年まで赤字事業であった ETEC 試験事業の収益を改善し、更に ETSS 準拠の新たな試験を立ち上げるべく準備を進めた。また研修事業推進委員会ではキャリア形成促進助成金を利用した研修にて 36 名の受講者を得ている。

技術本部活動は八つの技術委員会がそれぞれテーマで精力的な活動を行いその集大成を技術発表会の場で行った。

また当協会の普及啓発事業の柱である ET 事業は集客人数こそ昨年を下回る結果となったがカンファレンスの参加者は昨年を上回り、盛況のうちに幕を閉じることが出来た。

平成 21 年度重点事業項目

1. 組織拡充改革の実施
2. ETwest2009（組込み総合技術展関西）の開催
3. ET2009（組込み総合技術展）の開催
4. ET ロボコンの開催
5. 組込みソフトウェア技術者試験（ETEC）の実施、普及等運用強化
6. 組込み技術に関するフォーラム、セミナー、研修事業の実施
7. 海外関連団体との連携強化推進（インド、台湾、中国）
8. 技術研究活動、支部事業の活性化推進
9. 関連機関・団体との連携事業強化
10. 平成 21 年度（財）JKA 自転車等機械工業振興事業の実施
11. 組込みソフトウェア産業活性化プランへの積極的対応
12. 各種助成事業（研修）の支援
13. 一般社団化への準備作業

● （財）JKA 自転車等機械工業振興事業

上記事業を的確に遂行し、マイクロエレクトロニクス応用技術の開発を促進し、情報産業の発展に寄与するため、（財）JKA 自転車等機械工業振興事業「平成 21 年度組込み技術の高度化と環境整備に関する調査研究」を実施し、成果を報告書としてまとめたほか、機関誌「Bulletin JASA」に掲載し周知を図った。

■ 地域振興・活性化のための「組込み技術」に関するフォーラムの全国開催

- ① 平成 21 年 10 月 22 日、23 日 於 仙台市アエル
「東北 IT ソリューション EXPO2009」併催
【基調講演】 組込みシステム技術の動向と将来展望

【プレゼンテーションセミナー】

- (1) ETSS（組込みスキル標準）の導入とこれを活用した組込み技術教育
- (2) 組込みシステムと機能安全

② 平成 21 年 11 月 18 日～20 日 於 パシフィコ横浜（ET2009 併催）

【テクニカルセッション】

- (1) 組込み向けモデルベース開発
- (2) ソフトウェアテストの基本～グローバルスタンダードから
- (3) システム/アーキテクチャ記述技法の現状と動向～車載組込み現場の実際～
- (4) 組込みシステムのためのリスク分析
- (5) 欧州における機能安全の規格動向と実情
- (6) 自動車業界の機能安全規格 ISO26262 詳細解説

【アドバンスドテクニカルセッション】

- (1) 形式週報の概要と適用の実際
- (2) 組込み Linux を使用した最新システム開発手法
- (3) 組込み開発におけるユーザビリティの導入効果

③ 平成 21 年 12 月 2 日 於 名古屋国際会議場

（フロンティア 21 エレクトロニクスショー2009 併催）

【組込みシステム技術セミナー】

- (1) 組込みリナックスの現状とはじめ方
- (2) 組込みソフトウェアの機能安全
- (3) 組込み人材育成と組込みソフトウェア技術者試験での取組み、実績とデータの紹介

■ 組込みソフトウェア技術者試験の拡充のための支援事業

- ① 試験問題の作成及び適正度等測定のためのワーキンググループ運営
- ② 受験者のための学習テキスト及びガイダンスの作成。
- ③ 普及啓発活動として「組込み総合技術展」へ参加
- ④ 対策セミナーの開催

■ 組込みシステムにおける機能安全に関する調査研究

安全・安心社会の実現のため組込みシステム開発に必須となる機能安全の考え方を啓発し、普及させるために開発現場の実態を把握するとともに、国際規格などの情報を収集し、業界に周知し組込み技術の高度化を図るとともに対応策の提示。

- ① 組込み業界を核とする実態把握のためのアンケート調査実施
- ② 機能安全に関する業界対応策の提言
- ③ 機能安全に関する対策マニュアルの作成
- ④ 普及啓発のための機能安全セミナーの開催

Ⅲ. 会務の概況

1. 総会

1) 通常総会（第23回） 平成21年6月11日（木） フォーシーズンズホテル

以下に示す議案が諮られ、承認可決された。

- 1) 第1号議案 平成20年度事業報告書（案）承認の件
- 2) 第2号議案 平成20年度収支決算書（案）承認の件
- 3) 第3号議案 平成21年度事業計画書（案）承認の件
- 4) 第4号議案 平成21年度収支予算書（案）承認の件
- 5) 第5号議案 平成21年、22年度理事及び監事選任の件
- 6) 第6号議案 平成21年、22年度員外役員選任の件
- 7) 第7号議案 一般社団移行の件

この中で日本自転車振興会の「平成21年度自転車等機械工業振興補助事業」を実施することが承認された。

2. 理事会

平成21年5月14日から平成22年3月18日にわたり、計7回の理事会を開催。

1) 第147回理事会 平成21年5月14日（木） 於 東実年金会館4階会議室
議事

- (1) 本支部活動報告（北海道、東京、中部、北陸、近畿、九州）
- (2) 事業本部報告（運営本部、技術本部、ET事業本部、ETEC試験本部）
- (3) 新入会員の入会承認について（正会員6社、賛助会員1社）
 - ① 株式会社アイ・ティー・エフ (正会員／近畿)
 - ② 株式会社サニー技研 (正会員／近畿)
 - ③ 株式会社舞鶴計器 (正会員／近畿)
 - ④ 株式会社インサイトワン (正会員／東京)
 - ⑤ 株式会社シーズ (正会員／東京)
 - ⑥ 株式会社レッドフォース (正会員／東京)
 - ⑦ 株式会社富士通ラーニングメディア (賛助会員／東京)
- (4) 平成20年度収支決算案及び21年度予算案について
- (5) 平成20年度事業報告案及び21年度事業計画案について
- (6) 平成21年度、22年度理事及び監事選任の件
- (7) 平成21年度、22年度員外役員選任の件
- (8) 一般社団移行の件
- (9) その他
 - ① 平成21年度役員会の件
 - ② 寄付金の受け入れについて(Emblix)

2) 第 148 回理事会 平成 21 年 6 月 11 日 於 フォーシーズンズホテル椿山荘 東京
議事

(1) 新入会員承認【正会員 1 社】

① 株式会社フューテックスマバイル (正会員/東京)

(2) 常勤役員退職慰労金支給の件

(3) 第 23 回通常総会資料等確認

〔第 1 号議案〕平成 20 年度事業報告書 (案) 承認の件

〔第 2 号議案〕平成 20 年度財務諸表 (案) 承認の件

〔第 3 号議案〕平成 21 年度事業計画書 (案) 承認の件

〔第 4 号議案〕平成 21 年度収支予算書 (案) 承認の件

〔第 5 号議案〕平成 21 年度、22 年度理事及び監事選任の件

〔第 6 号議案〕平成 21 年度、22 年度員外役員選任の件

〔第 7 号議案〕一般社団移行の件

(4) その他

- ・日本エンベデッドリナックスコンソーシアム(Emblix)解散に伴う残余財産の扱いについて

3) 第 149 回理事会 平成 21 年 7 月 16 日 (木) 於 東実年金会館 4 階会議室
議事

(1) 本支部活動報告 (北海道、東京、中部、北陸、近畿、九州)

(2) 事業本部報告 (運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部)

(3) 21 年度事業について (担当役員割り当て)

(4) 一般社団移行スケジュール等の確認

(5) 22 年度 (財)JKA 自転車等機械工業振興事業要望について

(6) ものづくり中小企業製品開発等支援事業に対するアンケート結果

4) 第 150 回理事会議事録 平成 21 年 9 月 17 日 (木) 於 東実年金会館
議事

(1) 支部活動報告 (北海道、東京、中部、北陸、近畿、九州)

(2) 事業本部報告 (運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部)

(3) 新入会員の承認【正会員 2 社】

① フラットーク株式会社 (正会員/東京)

② 株式会社テクノサイト (正会員/東京)

(4) 21 年度事業本部組織及び、委員会・WG 参加 (募集) 状況について

(5) 22 年度 (財)JKA 自転車等機械工業振興事業申請について

(6) ものづくり中小企業製品開発等支援事業の公募について

(7) 中国ソフトウェア産業協会(CSIA)との MOU 締結について

(8) 平成 22 年賀詞交歓会及び第 24 回通常総会、会場について

5) 第 151 回理事会 平成 21 年 11 月 18 日 (水) 於 パシフィコ横浜 会議センター3F
議事

- (1) 支部活動報告 (北海道、東京、中部、北陸、近畿、九州)
- (2) 事業本部報告 (運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部)
- (3) 新入会員の承認【正会員 3 社】及び退会の報告
 - ① 株式会社金沢エンジニアリングシステムズ (正会員/東京)
 - ② 株式会社レンタコーチ (正会員/東京)
 - ③ 株式会社ユー・エス・イー (正会員/東京)
- (4) 東北支部設立に当たっての提案事項
- (5) 21 年度上期収支状況について
- (6) Emblix 残余財産の JASA 送金完了について

6) 第 152 回理事会 平成 22 年 1 月 14 日 (木) 於 品川プリンスホテル
議事

- (1) 支部活動報告 (北海道、東京、中部、北陸、近畿、九州)
- (2) 事業本部報告 (運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部)
- (3) 新入会員の承認【正会員 3 社】及び退会の報告
 - ① 有限会社エポテック (正会員/東京)
 - ② 東社シーテック株式会社 (正会員/東京)
 - ③ トライポッドワークス株式会社 (正会員/東京)
- (4) ETEC+ (クラス 2、1 統合) について
- (5) 平成 21 年度収支計算書 (暫定) 事業別収支内訳報告
- (6) 大原理事 (員外) 辞任について
- (7) JASA 新役職設置の件
- (8) その他
 - ・ H22 年度事業計画案、予算案提出について
 - ・ H22 年度役員会案、日程確認について

7) 第 153 回理事会平成 22 年 3 月 18 日 (木) 於 東実年金会館 4 階大会議室
議事

- (1) 本支部活動報告 (北海道、東京、中部、北陸、近畿、九州)
- (2) 事業本部報告 (運営本部、教育事業本部、技術本部、ET 事業本部)
- (3) 新入会員の承認【正会員 6 社、支部会員 4 社、賛助会員 1 社】及び退会企業【審議・報告】
 - ① 株式会社システムファクト 東京支社 (正会員/東京)
 - ② 株式会社フリーラインズ (正会員/東京)
 - ③ 株式会社コア 東関東カンパニー (支部会員/東北)
 - ④ 株式会社ビッツ 東北事業所 (支部会員/東北)
 - ⑤ 株式会社イーアールアイ (正会員/東北)
 - ⑥ タムス・ファームウェア株式会社 (正会員/東北)
 - ⑦ 株式会社ソフトエイジ (正会員/東北)

- ⑧ 株式会社ソーワコーポレーション 東北支社 (支部会員／東北)
- ⑨ 株式会社セントラル情報センター 東北支店 (支部会員／東北)
- ⑩ 株式会社N I D東北 (正会員／東北)
- ⑪ 一般社団法人組込みスキルマネジメント協会 (賛助会員)

(4) 東北支部について

(5) H21 年度収支見込について

(6) H22 年度事業計画予算 (案) について

(7) H22 年度収支予算 (案) について

(8) 学会会員の 신설について

(9) 定款の変更について

(10) 委員会規程の変更について

(11) 専務理事の選任について

(新) 門田 浩 平成 22 年 4 月 1 日より

(12) H21 年度事業報告書、H22 年度事業計画書 (案) 提出について

3. 会員の變動状況

本年度期首会員数は、正会員 173 社、賛助会員 35 社の合計 208 社であった。期中において、正会員 31 社、賛助会員 1 社の増加があったが、正会員 22 社、賛助会員 4 社の減少があったため、本年度期末会員数は、正会員社 182、賛助会員 32 社の合計 214 社となった。

新入会員 (正会員)

1. 株式会社トーセイシステムズ
2. アヴァシス株式会社
3. キヤノンイメージングシステムズ株式会社
4. 株式会社ギガ
5. 株式会社サウス・ウインド・システム
6. 株式会社さうすウェーブ
7. 株式会社琉球ネットワークサービス
8. 株式会社ジーエヌエー
9. 株式会社国建システム
10. アクシオヘリックス株式会社
11. ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社
12. リコーソフトウェア株式会社
13. ブラザー工業株式会社 製造部
14. 株式会社沖縄ソフトウェアセンター
15. 株式会社プランナーズランド 沖縄事業所
16. 株式会社オーシーシー
17. 株式会社アイ・ティー・エフ
18. 株式会社サニー技研
19. 株式会社舞鶴計器

20. 株式会社インサイトワン
21. 株式会社シーズ
22. 株式会社レッドフォース
23. 株式会社フューテックスモバイル
24. フラットーク株式会社
25. 株式会社テクノサイト
26. 株式会社金沢エンジニアリングシステムズ
27. 株式会社レンタコーチ
28. 株式会社ユー・エス・イー
29. 有限会社エポテック
30. 東社シーテック株式会社
31. トライポッドワークス株式会社

(賛助会員)

1. 株式会社富士通ラーニングメディア (賛助会員／東京)

IV. 本部活動報告

1. 運営本部

1. 組織改革委員会

1-1. 公益法人改革 WG

(ア) 2009年10月2日、WGを開催、以下の件につきWG内部でオーソライズした。

- ・公益法人改革スケジュールの立案と決定。
- ・定款案の立案。

1-2. 支部設立 WG

(ア) 2010年4月1日より正会員9社、支部会員4社で東北支部発足

- ・支部長：佐々木 賢一 / トライポッドワークス(株)
- ・副支部長：本田 光正 / 東杜シーテック(株)
- ・事務局所在地：宮城県仙台市青葉区昭和町5-23-5F 東杜シーテック(株)内
- ・発足時会員

【正会員】

- ① アポロ情報システム株式会社
- ② 株式会社イーアールアイ
- ③ 株式会社N I D東北
- ④ 有限会社エボテック
- ⑤ 株式会社ソフトエイジ
- ⑥ タムス・ファームウェア株式会社
- ⑦ 東杜シーテック株式会社
- ⑧ トライポッドワークス株式会社
- ⑨ 株式会社Y C C情報システム

【支部会員】

- ⑩ 株式会社コア 東関東カンパニー
- ⑪ 株式会社セントラル情報センター 東北支店
- ⑫ 株式会社ソーワコーポレーション 東北支社
- ⑬ 株式会社ビッツ 東北事業所

(イ) 6回WG会議を開催し特に東北支部設立に向け活動

2009年度 活動日程・議題予定及び、内容

	開催予定	時間	議題(予定)	内容
第1回	2009年 9月1日(火)	13:00 ~ 14:00	年度活動目標と活動計画・ 日程等について	・支部設立の目的確認 ・支部設立WGの位置付け確認 ・2009年活動目標 ・活動を計画・推進する為の前提条件

第2回	2009年 9月17日(木)	17:00 ～ 18:00	東北支部設立に向けての検討(新会員会社候補案作り等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員増強に向けて ・ 東北支部入会可能企業洗い出し ・ 国、県、市への働きかけ ・ 支部憲章の作成について
第3回	2009年 11月12日(木)	13:00 ～ 14:45	東北支部設立に向けての検討(新会員会社候補案作り等)進捗チェック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北支部設立について(支部長候補企業、入会対象企業について) ・ 東北開催 JASA/ET セミナー報告
第4回	2009年 12月16日(木)	14:00 ～ 15:10	東北支部設立趣意書の作成・確認 東北支部入会対象企業の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北支部設立趣意書の確認 ・ 入会対象企業の確認 ・ 設立に向けての実施計画
第5回	2010年 2月26日(金)	13:00 ～ 15:00	新支部用「支部活動と支部長の役割・運営」(仮称)冊子作成等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新支部用「支部活動と支部長の役割・運営」(仮称)冊子作成 ・ 東北支部新会員勧誘について(正会員、支部会員、賛助会員) ・ 今後の東北支部活動計画素案検討(内容、予算) ・ その他(東北支部入会対象企業の確認等その後の報告)
第6回	2010年 4月14日(水)	10:30 ～ 11:40	活動報告書まとめ等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の活動総括 ・ H21年度事業報告作成 ・ 活動反省点 ・ 平成22年度事業計画案

2. 広報委員会

2-1. 機関誌発行WG

協会機関誌「Bulletin JASA」を3回発行した。

今年度より、協会広報誌として情報発信機能を強化し、併せて会員連携の促進と新規会員勧誘の機能を具備する、より有効なメディアとして、記事内容の拡充を図った。

平成21年5月28日 Vol131.発行

11月18日 Vol132.発行

平成22年1月14日 Vol133.発行

2-2. HP管理WG

技術セミナー委員会とメンバーを共通し、毎月定例会を開催した。

協会活動を啓発するため、協会事業、会員情報、コラムや書籍案内等を掲載し、迅速な情報発信を行った。

3. 会員拡大推進委員会

全国支部長会（平成 21 年 10 月 29～30 日、於：沖縄）において、各支部長へ会員拡大を依頼。

4. 財務委員会

平成 22 年度事業予算の策定にあたり、委員会別予算申請制度を導入した。

各委員会より申告された予算計画を正副長会議にて精査した結果、収支額にて 10%以上の効果が出た。 予算消化状況により半期単位での予算見直しを実施する。

5. 国際委員会

◆ 国際委員会の新設・立ち上げ

・準備会（計 2 回）・委員会（計 4 回）隔月開催

◆ 中国ソフトウェア産業協会(CSIA)との MOU 調印、及び日中フォーラムの開催

・山東省済南市（9 月 28 日）

◆ グローバル化に関する会員調査アンケートの実施

・アンケート調査（9 月中旬）、全会員企業への報告（12 月）

・アンケート結果は今後の委員会事業計画の検討に活用

◆ 委員会基本方針と活動目標の検討

・海外協会との交流の 5 原則

1. 互惠 2. 平等 3. 非営利 4. 非排他 5. 遵法

◆ 委員会スピーチの実施

・台北市コンピュータ協会(TCA) 駐日代表 吉村章氏（12 月 17 日）

・(株)テクノサイト社長 大久保節夫氏（2 月 10 日）

◆ H22 年度事業計画の策定

◆ 海外 IT 関連団体への対応

・中国ソフトウェア産業協会(CSIA)（9 月）

・中国国際ソフトウェア及び情報サービスフェア(CISIS) 代表団（3 月）

・大連組込みソフト協会（3 月）

6. 協業推進委員会

新規に設置された委員会であり、参加メンバーによる設置目的の共有化を行うとともに次年度に向けて具体的な実施施策に関する議論を行った。

2. 教育事業本部

1. ETEC 試験委員会

(1) ETEC 試験事業の収支モデルの再検討の実施

現状の収支状況を詳細に把握し、H21 年度の補助金利用の必要性の再検討、ETEC 普及活動のレビュー、受験者目標の明確化、月次報告体制の構築を行った。また、ETEC 普及に活用できる報告書の作成を実施した。

【活動結果】

- ・受験生数 目標 2 千名に対して 1664 名を達成
- ・収支目標 当初予算：△260 万円 修正目標：収支 0 最終結果：△30 万円
(理由) ①JKA 補助金利用内容の見直し (利用金額の 50%補助)
②各種運用コストの削減
- ・JKA 補助金報告書作成の実施
JKA 補助金を活用して「平成 21 年度組込み技術者試験制度 ETEC の活用方法と企業事例組込みソフトウェア技術者育成に向けて」の冊子を作成し各会員企業に配布するとともに、ETEC 普及の販促ツールとして活用。

委員会実施実績：

ETEC 試験委員会 (6 回開催) 8/5 9/9 10/13 11/10 12/9 2010/3/12

(2) 問題作成 WG での ETEC 問題入替えの検討

現状の ETEC 問題の回答率、回答時間などの分析を行い、一部の問題の入替えを検討した。実施は、平成 22 年度の上期中に対応を予定している。

- #### (3) イベント企画に関しては ETEC 試験委員会において同時に議論・検討を実施
- ET2009 での教育研修会社によるスポンサー支援による各種企画の実施
ETEC 優秀者表彰、各種セミナーの実施などを行い、ETEC 普及に貢献した

【成果】

- ・ET2009 への出展 (ETEC 優秀者表彰イベント) 11/18 電場新聞 DC 紙、
12/1 電波新聞 本誌掲載
- ・ETEC 活用セミナーの開催 (2 回 延べ 200 名の参加)

2. 研修事業推進委員会

厚労省の『実践型人材養成システム普及のための地域モデル事業』として次の活動を実施した。

- ・平成 21 年度ハロプロ JASA 新入社員研修実施 (JASA 主催：36 名/16 社)
- ・研修受講企業に対するアンケート、ヒアリング調査を実施
- ・平成 22 年度版組込みソフトウェア技術者向け訓練カリキュラムの構築と組込み技術者向けの評価シートの作成を実施
- ・厚労省『実践型人材養成システム普及のための地域モデル事業』報告書作成 (会員企業、全国雇用センターとの商工会議所への配布)

委員会開催実績：

全体会議 (計 5 回) 9/2, 10/2, 10/28, 11/20, 12/2

カリキュラム WG (計 6 回) 10/2, 10/28, 11/6, 11/12, 3/4, 3/15

評価検討 WG (計 6 回) 10/2, 10/28, 11/6, 11/12, 3/4, 3/15

3. 研修委員会

- ①人材育成に関して教育機関の実態と企業の期待度では差があるので、企業側が期待する人材像を探るためのアンケート実施 (2009 年 6 月)
 - ・アンケート結果「新入社員に求める組込み技術知識についての調査報告書」

作成

ギャップを埋めるための教育機関へ働きかけを探る

- ・パイロットとしてコア学園の先生向けセミナー・意見交換会を実施
(2009年8月)

②ET展でのオープンステージプレゼンテーション(実施2回)

- ・『JASA アンケートから見た組込み教育の現状と課題』
- ・11月18日(水) 15:30-15:50、11月19日(木) 11:00-11:20
- ・集客 2回で100名以上

③研修委員会議

- 第1回研修委員会 2009年9月29日
- 第2回研修委員会 2009年10月28日
- 第3回研修委員会 2009年12月2日
- 第4回研修委員会 2010年1月20日
- 第5回研修委員会 2010年2月19日
- 第6回研修委員会 2010年3月12日

④教育機関へ働きかけ

- ・コア学園との連携で文科省補助事業申請検討
- ・職能大での学生向け・先生向けセミナー検討
- ・『Bulliten JASA』を教育機関へ配布検討

3. 技術本部

1. 技術セミナー委員会

2009年度を通じて5回の機能安全シリーズのセミナーを運営。

他に地方開催セミナーを3回開催(JKA補助金対象事業)

◎JASA/ET セミナー

- 第14回 機能安全シリーズ① 「製品安全の確保と認証」
- 第15回 機能安全シリーズ② 「自動車における安全の確保と事例」
- 第16回 機能安全シリーズ③ 「原子力分野の動向とソフトウェアの事例」
- 第17回 機能安全シリーズ④ 「鉄道及び、制御機器の機能安全と事例」
- 第18回 機能安全シリーズ⑤ 「国際規格に基づく機械安全設計及び
宇宙分野のソフトウェア安全確保の取り組み」

◎地方開催

(1)「東北ITソリューション EXP02009」会場にて

2009年10月22日~23日

仙台市 アエル5F 多目的ホール

【基調講演】

組込みシステム技術の動向と将来展望

【プレゼンテーションセミナー】

ETSS（組込みスキル標準）の導入とこれを活用した組込み技術教育
組込みシステムと機能安全

(2) ET2009 にて

2009年11月18日～20日

パシフィコ横浜

【テクニカルセッション】

- ① 組込み向けモデルベース開発
- ② ソフトウェアテストの基本～グローバルスタンダードから
- ③ システム/アーキテクチャ記述技法の現状と動向
～車載組込み現場の実際～
- ④ 組込みシステムのためのリスク分析
- ⑤ 欧州における機能安全の規格動向と実情
- ⑥ 自動車業界の機能安全規格 ISO26262 詳細解説

【アドバンスドテクニカルセッション】

- ① 形式週報の概要と適用の実際
- ② 組込みLinuxを使用した最新システム開発手法
- ③ 組込み開発におけるユーザビリティの導入効果
～ケーススタディで学ぶ開発プロセス

(3) フロンティア 21 エレクトロニクスショー2009 にて

2009年12月2日～3日

名古屋国際会議場

【組込みシステム技術セミナー】

- ① 組込みリナックスの現状とはじめ方
- ② 組込みソフトウェアの機能安全
- ③ 組込み人材育成と組込みソフトウェア技術者試験での取り組み、実績とデータの紹介

2. 安全性向上委員会

安全性向上委員会安全性向上委員会では、調査報告書「組込みシステムにおける情報セキュリティ対策および機能安全に関する調査研究」を発行した。(JKA 補助事業)

2-1. セキュリティ WG

セキュリティ WG では、2008 年度実施した組織の情報セキュリティ対策のアンケート結果を踏まえ、2009 年度は、JASA 会員企業にも適用可能な、比較的小規模な組織の情報セキュリティ対策のための、簡便で的確な対策文書を開発した。これを上記報告書にまとめた。

2-2. 製品安全 WG

製品安全 WG では、2008 年度は、課題・実態や動向調査に重点を置いたが、2009 年度は、分野毎の事例調査を行い、組込み系の参考となるものを収集・抽出した。このためにセミナー委員会と連携し各分野の安全の専門家のお話をうかがい、それに基づき事例調査を行った。安全関連用語集も作成した。これを上記報告書にまとめた。

3. OSS 活用委員会

平成 21 年度は OSS 活用委員会としては 3 度の委員会を開催した。委員会では、平成 22 年度よりの開始を検討している OSS ライセンス WG と仮想化 WG に おいてどのようなことが出来るかが議論された。

OSS ライセンスに関する議論は今後の組込みシステム開発で重要となり、JASA としてこのような情報を発信することが重要であることが確認された。主査として江端氏が選出され、江端氏を中心に WG の運営を検討することになった。メンバーは旧 Emblix のライセンス WG のメンバーを中心に IPA の関係委員会との連携の可能性も議論された。

仮想化 WG の検討では、はじめに仮想化が次世代の組込みシステムで如何に重要であるかの議論がおこなわれた。Android 等の高位のソフトウェアが充実すると、それらのソフトウェアを大きく変更せずに付加価値を増大させることが可能な仮想化技術は益々重要となり、国内の組込みシステム業界の発展のためにも JASA において WG を進めることは意義があることが確認された。主査としては竹岡氏が選出され、可能性があるメンバー企業に関する検討もおこなわれた。

4. 実装品質強化委員会

組込みソフトウェアの実装品質に関して JASA 会員企業の実態を調査し、加えて、実装品質を強化するための技術を調査・整理し、JASA 会員企業に利活用を促進することを目標としたソフトウェア実装品質強化委員会を立ち上げるべく、平成 21 年度は、その準備をおこなった。

5. ハードウェア研究会

本年度においては、組込みシステム技術者に求められるハードウェア技術要素について、どのように分類すべきかについての調査検討を行ってきた。まず「組込みハードウェアとは何か」について、その分類の仕方を検討し、次に代表的な組込みシステムと思われる 3 製品を例にして、具体的な分類を試みた。

(1) 「組込みハードウェアとは何か」の分類検討

- ・ 技術分野で分類
- ・ 時系列での分類
- ・ 開発工程による分類
- ・ 主要製品による分類

(2) 代表的な製品におけるハードウェア技術要素の調査

- ・ 携帯電話におけるハードウェア技術要素
- ・ 車載器におけるハードウェア技術要素
- ・ テレビにおけるハードウェア技術要素

いずれの分類法の検討においても、納得のいく成果にまでは至らなかった。また、主要製品におけるハードウェア技術要素の事例調査においても、共通した分類方法を見出すことは難しかった。

これからの検討結果から、組込みハードウェアに限定することなく、もっと広くハードウ

エアをとらえて議論する必要性のあることをメンバー全員が痛感することとなり、次年度以降に引き続き検討することとなった。

6. プラットフォーム研究会

平成 21 年度は下記の 3 つのテーマを設定し、次世代の共通基盤となる技術や考え方の探究を目的として活動を行った。

- 1) プラットフォームについての基本を考える。
書籍「プラットフォーム・リーダーシップ」を題材に輪講を行い、イノベーションを駆動してきたプラットフォームの実績を解析しながらプラットフォーム・リーダーの戦略を理解し、プラットフォームの基本を再確認した。また、今後の情報通信産業の再生の指針と思われるプラットフォームの活用法について検討を行った。
- 2) プラットフォームを選定し深堀を行う。
自動車や RT（ロボットテクノロジー）、携帯電話や次世代通信インフラ、ネットワークやサービス等の各分野のプラットフォームの技術や戦略について深く調査を実施した。
- 3) トレンドや新規技術の動向について情報を共有する。
プラットフォームを基軸とした最新トレンド情報を話題とし、各メンバーの保有情報や問題意識を持ち寄ることで将来へ向けて時代の流れを掴んだ。

7. 状態遷移設計研究会

・活動概要

3 年目となる本年度は、初年度の基本編、次年度の応用編に続き、積み残していた階層化などの概念を導入する議論を月例会にて行い、状態遷移設計について、手法書としてまとめる作業を行った。

また、ET2009 においては、アンケート取得の為にメンバーが交代で JASA のブースに立ち協力者の勧誘にあたった。

・活動詳細

第一回 月例会 4 月 21 日（木） 16:00~18:06

- ・状態遷移表の動作セルの分割について 条件-処理-遷移を一組と考える

第二回 月例会 5 月 26 日（木） 16:00~18:07

- ・状態遷移表の拡張案について イベントキューの扱い
- ・イベントの表記案について

第三回 月例会 6 月 30 日（木） 16:00~18:17

- ・状態遷移図の論点について 処理順は Action → Exit → Entry を基本とする

第四回 月例会 7 月 28 日（火） 16:00~18:20

- ・モードアクティビティについて ソフト技術者には理解しづらい

第五回 月例会 8 月 27 日（木） 16:00~18:00

- ・階層化について 全体が見渡せなくなると階層化して表を小さくする

第六回 月例会 9 月 29 日（火） 16:00~18:00

- ・階層化について 状態が階層化している場合、表を階層化できる

第七回 月例会 10月20日(火) 16:00~18:00

- ・階層化の表記 階層化が効果的な具体例が必要
- ・記入内容の表記について 言葉を統一するためのガイドラインが必要
- ・アンケートについて 昨年件数が少なかった項目を削除する

第八回 月例会 11月12日(月) 16:05~18:17

- ・階層化について、概念設計の説明
- ・イベント階層について 階層化とは言いにくい表記が問題

ET2009 11月18日~20日にて設計手法についてのアンケートを実施

- ・メンバーが交代で実施し、350件のデータを取得

第九回 月例会 12月15日(木) 16:05~18:00

- ・階層化における状態の扱いについて 独立した状態と依存した状態
- ・イベントの階層化の説明

第十回 月例会 1月26日(火) 16:00~18:00

- ・アンケート集計について
- ・今年度成果のまとめについて

第十一回 月例会 2月23日(火) 16:00~18:00

- ・アンケート集計について
- ・今年度成果のまとめについて

第十二回 月例会 3月25日(木) 16:00~18:00

- ・今年度成果のまとめについて

・活動成果

H21年度は、状態遷移表設計手法の基本編と応用編に加え、階層化などの案も含めて、予め文書を作成し、それについて、議論を進めていく形とする予定であったが、議論を進めていく内に、様々な概念上の課題が見えてきた。それらの項目を列挙しさらなる議論を要する項目であることを明記し、整理することが出来た。

8. 制御設計研究会

制御設計研究会では、組込みソフトウェアの開発工程において、今後、主流となるであろうモデルベース開発の普及と手法の確立に向けて活動している。

発足初年度である平成21年度では、まずオープンソースの制御設計ツールの機能やモデリングの調査・研究、並びに市販の制御設計ツールと比較・検証を行った。また、EV・HVへ向けた研究・開発が盛んな自動車業界に向けたモデルベース開発の紹介、およびモデルベース開発に望まれる要件についてヒアリング調査を実施した。

9. アドバイザー・評価委員会

(実施できず)

4. ET 事業本部

(1) Embedded Technology 2009／組込み総合技術展の開催

- 会 期 2009年11月18日(水)～20日(金)
会 場 パシフィコ横浜
主 催 (社)組込みシステム技術協会
企画・推進 (株)ICS コンベンションデザイン
後 援 横浜市、情報処理推進機構、アメリカ合衆国大使館商務部、
英国大使館貿易・対英投資部
協 賛 日本貿易振興機構、科学技術振興機構、(財)日本情報処理開発協会、
(社)情報サービス産業協会、(社)電子情報技術産業協会、(社)トロン協会、
(社)日本半導体ベンチャー協会、(社)情報処理学会、
高速信号処理応用技術学会、東京都立産業技術研究センター、
台北市コンピュータ協会
特別協力 IPv6 普及・高度化推進協議会、Open Embedded Software Foundation、
外国系半導体商社協会、組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会、
高速電力線通信推進協議会、CE Linux Forum、T-Engine フォーラム、
TOPPERS プロジェクト、半導体理工学研究センター、日本 Android の会、
日本電子機器輸入協会、人間中心設計推進機構
併催行事 ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト(略称:ET ロボコン)
チャンピオンシップ大会(競技会:11月18日、ワークショップ:11月19日)
展示規模 出展社数:384社・団体 小間数:724小間
来場者数 22,117名
カンファレンスプログラム数:110セッション 受講者数:延べ10,992名

<事業本部及び委員会>

- 5月18日 第1回実行委員会
6月26日 事業本部
8月5日 企画委員会、査読会
8月20日 事業本部
9月8日 第2回実行委員会
9月18日 出展説明会
10月2日 企画委員会、査読会
12月15日 第3回実行委員会、結果報告及び反省会
1月27日 事業本部
2月12日 企画委員会
3月1日 企画委員会
3月18日 事業本部
3月31日 事業本部、実行委員会

(2) Embedded Technology West 2009／組み込み総合技術展 関西の開催

会 期 2009年6月4日(木)、5日(金)
会 場 インテックス大阪
主 催 (社)組み込みシステム技術協会
企画・推進 (株)ICS コンベンションデザイン
後 援 近畿経済産業省、大阪府、大阪市、情報処理推進機構
協 賛 関西経済連合会、組み込みソフト産業推進会議、大阪商工会議所、
(財)関西情報・産業活性化センター、ネオクラスター推進共同体、
(社)トロン協会、近畿情報システム産業協議会、
(財)大阪科学技術センター、(財)大阪市都市型産業振興センター、
(社)電子情報技術産業協会 関西支部
展示規模 出展社数：107社・団体 小間数：151小間 来場者数：4,511名
カンファレンスプログラム数：42セッション
受講者数：延べ3,146名

<実行委員会>

5月21日 第3回実行委員会
7月14日 第4回実行委員会、結果報告
12月8日 第1回実行委員会(2010対応)

(3) ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト2009(略称：ET ロボコン)

主 催 (社)組み込みシステム技術協会
後 援 (社)情報処理学会、(社)日本ロボット工業会
特別協力 組み込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会
参加チーム 354チーム
地区大会 北海道・東北：8月30日(日) 於 いわて県民交流センター
北関東：9月6日(日) 於 群馬大学
東 京：9月5日(土)、6日(日) 於 工学院大学
南関東：9月12日(土)、13日(日) 於 関東学院大学
東 海：9月26日(土)、27日(日) 於 浜松情報専門学校
関 西：9月20日(日)、21日(祝) 於 京都コンピュータ学院
九 州：9月5日(土)、6日(日) 於 福岡SRPセンター
チャンピオンシップ大会
競技会：11月18日(水) 於 パシフィコ横浜
ワークショップ：11月19日(木)

V. 支部活動報告

<北海道支部>

1. 総括

今年度の経済情勢は、エコポイント制度による自動車、家電製品の販売増と中国経済の回復もあり、不況のどん底から脱出しつつある。

しかし、設備投資、研究開発、雇用の増加という本格的回復には至っておらず、まだまだ不透明感が漂っている。

このため、企業の投資意欲は依然低迷しており、組み込みシステムを得意とするJASA会員企業も受注面で苦しい状況が続いている。

このような状況の中、北海道支部は少数集団であるが、他の業界団体と連携し、組み込みシステムの普及啓発に努めてまいりましたが、単独での事業は出来なかった1年であった。

2. 会員動向

	正会員	支部会員	賛助会員	計
20年・3月	2	1	0	3
21年・3月	2	1	0	3

3. 活動状況

なし

<東京支部>

1. 事業概要

東京支部としては、組込み技術の普及啓発を事業の柱に、会員増強、人材育成、会員間交流活性化を推進し、協会の核としての役割は十分に果たしたといえる。ET2009をはじめ諸事業も順調に推移し、今後の東京支部の事業活動発展の基礎を築いたといえる。

また、支部独自・単独の事業としては、東北・東京ビジネス交流会や見学会を積極的に進め大きな成果があった。

2. 会員の異動状況

	正会員	支部会員	賛助会員	計
20年・4月	104	3	35	142
21年・3月	108	2	34	144

期首支部会員数は、正会員 104、賛助会員 35、支部会員 3 社の合計 142 社、期中において正会員入会 10 社、賛助会員入会 1 社の入会があった一方、正会員 6 社、賛助会員 2 社、支部会員 1 社の退会があり、期末合計は、正会員 108 社、賛助会員 34 社、支部会員 2 社の合計 144 社となった。

3. 事業実績

1. 平成 21 年度フレッシュヤーズセミナー

- ・日 時 4 月 2 日 (木) ~4 月 3 日 (金)
- ・場 所 東実年金会館 4 階会議室
- ・参加者 支部会員 10 社 57 名

2. 「支部例会・見学会」

- ・日時 平成 21 年 4 月 23 日 (木) 14 : 30 ~
- ・場所 東芝システムテクノロジー株式会社 会議室
- ・見学会 機能安全関連技術紹介、原子力シミュレータデモ
- ・懇親会 参加者 32 名

- ・日時 平成 22 年 1 月 28 日 (木) 15 : 00 ~
- ・場所 dSPACE Japan 株式会社 会議室
- ・見学会 モデルベース開発の概要、プロトタイプ開発
- ・懇親会 参加者 36 名

3. 平成 21 年度支部総会

- ・日 時 5 月 29 日 (金) 15 : 00 ~
- ・場 所 椿山荘 1 階会議室「ペガサス」
- ・議 案
 - ・平成 20 年度事業報告及び収支決算書の承認
 - ・平成 21 年度事業計画及び収支予算案の承認
 - ・その他
- ・講演会「世界を制するオンリーワン中小企業になろう！」
株式会社アプリックス 代表取締役 郡山龍 氏
- ・新入会員ご紹介
 - ・懇親交流会「ほたるの夕べ」
- ・参加者 90 名

4. 支部例会・講演会

- ・日 時 8 月 20 日 (木) 15 : 00 ~
- ・場 所 東実年金会館 3 階会議室
- ・講演会

「人生が変わる話し方講座 ～著名人のバックステージ・エピソードに学ぼう」

講師 小俣雅子 氏

参加者 51 名

・懇親交流会 野田屋 参加者 50 名

5. 「東北・東京ビジネス交流会」

日時 平成 21 年 9 月 1 日 (火) 15:00～

場所 東実年金会館 会議室 4 階・3 階

参加者 東北 54 名、東京 46 名 (計 100 名)

①東北企業の紹介 9 社

②東京支部会員の紹介 2 社

懇親会 参加者 100 名

6. 「支部例会・忘年会」

日時 平成 21 年 12 月 11 日 (金) 15:00～

場所 京王プラザホテル 47 階「あけぼの」

①講演会「職場のリーダー育成法」

講師 株式会社セレブレイン 代表取締役社長 高城幸司 氏

参加者 96 名

②忘年会

懇親会 参加者 94 名

7. 常議員会

①第 1 回常議員会

日時 平成 21 年 5 月 21 日 (木) 15:00～

場所 東実年金会館 会議室

参加者 常議員 24 名

内容

支部総会で審議予定の事業報告・事業計画について議論。

議事 1 平成 20 年度事業報告について

議事 2 平成 20 年度収支決算について

議事 3 平成 21 年度事業計画について

議事 4 平成 21 年度収支予算について

議事 5 役員改選について

②第 2 回常議員会

日時 平成 21 年 7 月 28 日 (木) 15:00～

場所 東実年金会館 会議室

参加者 常議員 20 名

議題 以下の議題について討議を行った。

- (1) 新役員紹介
- (2) 平成 21 年度事業について
- (3) その他

②第 3 回常議員会

日時 平成 21 年 11 月 12 日 (火) 15:00~

場所 東実年金会館 会議室

参加者 会員 20 名

議題

- (1) 平成 21 年度事業について
- (2) その他

③第 4 回常議員会

日時 平成 22 年 2 月 25 日 15:00~

会場 東実年金会館 3 階会議室

議題 以下の議題について討議を行った。

- 1. 平成 21 年度決算(予測)について
- 2. 平成 22 年度予算について
- 3. 平成 22 年度事業計画について

8. その他

協会本部主催の 21 年度自転車等機械工業振興補助事業、ET セミナー、組込み技術者研修、ET2009 (組込み総合技術展) などに主体的に参画し大きな成果を残した。

<中部支部>

1. 会員の異動状況

	正会員	支部会員	賛助会員	計
20 年・4 月	18	2	0	20
21 年・3 月	18	2	0	20

2. 平成 21 年度 中部支部実施事業リスト

正副支部長会	1 回
常議員会	2 回
総会・懇親会	1 回
人材育成研究会	1 回
ミドル会	4 回
見学会	1 回
会員企業訪問交流・見学会	3 回

定例会	7回
産業視察	1回
忘年会	1回
セミナー	1回
講演会	1回

3. 平成21年度 中部支部実施 事業詳細

正副支部長会

第1回正副支部長会

日時 平成21年4月20日 16:00~17:30

場所 名古屋市工業技術振興協会 会議室

参加者 水谷 多嘉士 支部長 香川 利光 坂井 裕 加藤 輝政
4名

- 議題
1. 平成20年度事業報告
 2. 平成20年度決算報告
会計監査報告
 3. 平成21年度事業計画
 4. 平成21年度収支予算
 5. 平成20年度における支部会員の増減
 6. 常議員の選任
 7. 支部事務局長に選任
 8. その他

常議員会

第1回常議員会

日時 平成21年5月13日 17:00~19:00

場所 ヒルトンホテル 3階 王朝

名古屋市中区栄1-3 TEL:052-212-1111

参加者 10名

水谷 多嘉士 香川 利光 坂井 裕 佐藤 博昭 松村 和成
長沢 孝之 津江 則夫 脇田 周爾 青木 義彦 加藤 輝政
(欠席 4名)
斉木 邦明 棚橋 正治 杉浦 義治 岡田 勝男

次 第

1挨拶 支部長 水谷 多嘉士

2議長選出 支部規則 第18条2項により支部長が議長に当たる。

3議題 1. 平成20年度事業報告

2. 平成 20 年度決算報告
会計監査報告
3. 平成 21 年度事業計画
4. 平成 21 年度収支予算
5. 平成 20 年度における支部会員の増減
6. 常議員の選任
7. 支部事務局長の選任
8. その他

配布資料

支部規則

ミドル会、総会・懇親会参加申し込み状況リスト

第 2 回常議員会

1. 日 時 平成 21 年 12 月 17 日 (木) 17 : 30 ~ 18 : 00
2. 会 場 料亭 つたも
3. 参加者人数 9 名
4. 議 題
 1. 組込みシステム技術セミナー総括
 2. フロティア 21 エレクトロニクスヨーの実施結果と次年度予定
 3. 定例会での話題提供について
 4. 次年度産業視察事業について
 5. その他

総会・懇親会

I. 通常総会

1. 日 時 平成 21 年 5 月 21 日 (木曜日) 17 : 15 - 17 : 50
2. 場 所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2 階会議室(志野)
名古屋市中村区名駅二丁目 43-6 TEL (052) 571-0205
3. 議題
 - (1) 平成 20 年度事業報告並びに収支決算について
 - (2) 平成 21 年度事業計画並びに収支予算について
 - (3) 平成 20 年度支部会員の推移
 - (4) 役員選任
 - (5) 支部事務局長の設置
 - (6) その他
4. 参加人数 21 名
内訳 会員 15 名 委任状 1 名 関係者 5 名

II. 懇親会

1. 日 時 平成 21 年 5 月 21 日 (木曜日) 18 : 00 - 20 : 30
2. 場 所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2 階 ザ・ダイニングルーム
3. 懇親会 ディナー・音楽生演奏を楽しみながら懇親を深める。
生演奏 テーマ”さみどりのコンチェルト”

バイオリン、ピアノ、トランペット、にソプラノ歌手という異色の組み合わせでお楽しみいただきます。

ディナー フレンチコース（フランス料理）

4. 参加者 40名

第1回人材育成研究会

1. 日時 平成21年6月5日13時から14時40分
2. 場所 名古屋市工業研究所 第5会議室
3. 議題
 - ・キャリア形成促進助成金の仕組みと適用条件
 - ・昨年度 JASA 事務局と委員会で作成した、実践型人材養成システム（キャリア形成促進助成金）
 - ・本年度の計画予定地方研修機関と連携したオープン研修について
4. 講師 組込みシステム技術協会 母里 健一
5. 参加者 9名

第1回 ミドル会

1. 日時 平成21年5月21日（木曜日） 18:00-20:30
2. 場所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2階 ザ・ダイニングルーム
3. 内容
 - 1. ミドル会参加者の自己紹介
 - 2. アンケートのお願いと今後の予定について
4. 懇親会 総会参加者と合流してディナー・音楽生演奏を楽しみながら懇親を深める。
生演奏 テーマ”さみどりのコンチェルト”
バイオリン、ピアノ、トランペット、にソプラノ歌手という異色の組み合わせでお楽しみいただきます。
ディナー フレンチコース（フランス料理）
5. 参加者 8名

第2回 ミドル会

1. 日時 平成21年6月24日（水曜日） 18:00-20:30
2. 場所 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2階 織部
3. 内容
 - 1. 最近の経済動向とポスト株主資本主義についての解説
 - 2. アンケートの回答結果をもとにした参加者の得意分野や会社の紹介
 - 3. 次回使用するテキスト
”リーダーシップが面白いほど身につく本” 守谷雄司 著
の紹介と次回の予定
4. 交流 食事をとりながら自由な雰囲気での意見交換
5. 参加者 9名

第3回 ミドル会

1. 日時 平成21年7月22日(水曜日) 18:00-20:30
2. 場所 料亭 つたも
3. 内容
 1. 政権党と政策決定の一元化
 2. テキスト”リーダーシップが面白いほど身につく本” 守谷雄司 著
を読んで感銘を受けた項目
 3. フリーディスカッション
4. 交流 食事をとりながら自由な雰囲気での意見交換
5. 参加者 9名

第4回 ミドル会

1. 日時 平成21年9月16日(水曜日) 18:00-20:30
2. 場所 ヒルトン名古屋 王朝
3. 内容
 1. 新聞の論説欄の読み方
 2. ミドルの役割・最近の経済状況
 3. フリーディスカッション
4. 交流 食事をとりながら自由な雰囲気での意見交換
5. 参加者 9名

見学会

1. 日時 平成21年7月29日(水) 14:00~19:30
2. 場所 愛知県立大学 S棟201教室 情報科学共同研究所
3. 内容
 - 14:00~14:10
開会挨拶 情報科学部長 井手口 哲夫 教授
 - 14:10~15:00
情報科学共同研究所の研究紹介
情報科学共同研究所所長 小栗宏次 教授
研究室紹介
山本研究室 山本晋一郎 教授
村上研究室 村上 和人 教授
小栗研究室 小栗宏次 教授
 - 15:10~16:20
研究室の見学
ACCモデルの開発と構成管理技術の研究
ロボットエキシビション
ITS予防安全技術に関する研究
 - 17:20~19:00
交流懇親会

4. 参加者 10名

第1回定例会

1. 日時 平成21年7月29日(水) 16:20~16:50
2. 場所 愛知県立大学 S棟201教室
3. 議題
 1. 宮城県産業技術総合センターの紹介
9月4, 5, 6日のスケジュール
 2. 今後の行事予定について
10月の会員企業訪問見学交流会は10月7日にミントウエーブを訪問する
11月の会員企業訪問見学交流会は11月11日にブラザー工業を訪問する
 3. その他
4. 参加者 10名

第2回定例会

1. 日時 平成21年9月4日(金) 15:00~16:00
2. 場所 宮城県産業技術総合センター
3. 議題
 1. 組込みシステム技術セミナーの開催概要
フロンティア21 エレクトロニクスショーのなかで
競輪の補助金を得て開催する
 2. その他
4. 参加者 12名

みやぎ組込み産業振興協議会 3名

第3回定例会

1. 日時 平成21年10月7日(水) 15:00~17:00
2. 場所 (株)ミントウエーブ 名古屋オフィス
3. 参加人数 9名
4. 議題
 1. エレクトロニクスショー併催 組込みシステム技術セミナーについて
9月下旬になって 組込みソフトウェア技術者試験の取組み、実績についての講演希望があったのでプログラムが一部変更になった。
 2. 平成21年度ボーリング大会開催の説明と参加者募集の依頼
 3. 今後の予定
 - ・会員企業訪問・見学会を平成22年2月頃に開催する訪問企業として三幸電さんを予定する
 - ・忘年会を平成21年12月16日、17日頃に”料亭つたも”で開催する
 4. その他
ハロプロを平成22年度中部支部で実施するために参加人数を把握するアンケート調査をする

第4回定例会

1. 日 時 平成21年11月12日(木) 15:00~17:00
2. 場 所 ブラザー工業株式会社 ブラザーコミュニケーションスペース内の会議室
3. 参加人数 12名
4. 議 題
 1. ボーリング大会の実施結果報告
 2. 忘年会の開催について
 3. 第3回会員企業訪問交流・見学会・定例会の開催計画
 4. エレクトロニクスショー併催 組込みシステム技術セミナーについて
現時点までの参加申し込み状況と参加申込動向
 5. ハロプロアンケートの集計結果
アンケート結果と平成21年度実施企業の経験説明などから平成22年度は
中部支部でハロプロを実施しないことになった。
 6. その他(2010年版会員企業案内冊子の作成スケジュール資料を配布)

第5回定例会

1. 日 時 平成21年12月17日(木) 18:00~18:30
2. 会 場 料亭 つたも
3. 参加者人数 13名
4. 議 題
 1. 組込みシステム技術セミナー総括
参加者 82名であった。
 2. フロティア21エレクトロニクスショーの実施結果と次年度予定
展示会参加者822名 講演会・セミナー参加者1762名であった。
平成22年度は11月11日、12日に開催予定
次年度組込みシステム技術セミナーを開催する件は今年度ものづくり
支援補助金を受けた企業の成果発表会の位置づけと合わせて検討する。
 3. 定例会での話題提供について
次回定例会の話題提供テーマとして”クラウドコンピューティング”
を検討する。佐藤副支部長を窓口をお願いしてNECに話題提供をお願い
する。
 4. 次年度産業視察事業について
4月頃に九州地区の産業視察を行う案が提案された。訪問先については
今後検討を行う。
 5. その他
次年度の会員企業訪問交流・見学会先としてサンテックを訪問する案が
提案された。

第6回定例会

1. 日 時 平成22年2月3日(木) 17:30~18:30
2. 会 場 三幸電子株式会社 本社 会議室
3. 参加者人数 12名

4. 議 題
1. 第7回定例会に同時開催するサブセミナー”クラウドコンピューティング”について
会場日本電気 東海支社
開催日時 3月17日(水) 15:00~16:30
 2. 平成22年度 事業計画と予算案
事業計画、予算、スケジュールについて原案をもとに議論した。
平成22年度にはCOMPUTEX TAIPEIの産業調査団参加者募集を行うことが提案された。
 3. 九州地区産業視察について
JASA九州支部と連絡をとる。
実施期日は4月9日、10日を予定する
 4. 会員企業案内冊子の更新について
3月末までに案内冊子を発行する予定。
原稿提出締め切りは3月5日
 5. その他

第7回定例会

1. 日 時 平成22年3月17日(木) 16:30~17:30
2. 会 場 日本電気株式会社 東海支社 会議室
3. 参加者人数 11名
4. 議 題
 1. 平成22年度 事業計画と予算案
第6回定例会の結果を踏まえた修正案が提案された
 2. 九州地区産業視察について
JASA九州支部の協力で九州先端科学技術研究所、福岡システムLSI総合開発センター等の見学と、九州支部会員との交流を行う。
 3. 平成22年度総会の計画概要
5月19日(水)にソフィテルザサイプレスで行う。
懇親会の恒例になっている生演奏については支部長に一任する。
 4. 海外産業視察について
平成22年度に調査団を派遣するCOMPUTEX TAIPEIの参加募集の概要を説明
 5. その他

産業視察

1. 日 時 平成21年9月4日(金)~6日(日)
2. 場 所 宮城県産業技術総合センター
3. 内 容
 1. 宮城県産業技術総合センター見学
通電加熱焼結装置(放電プラズマ焼結)
電波暗室
3次元動作解析装置
 2. 中部支部とみやぎ組込み産業振興協議会との交流会

中部支部活動報告

みやぎ組込み産業振興協議会活動紹介

宮城県情報産業戦略説明

宮城県産業技術総合センターにおける組込み関連事業紹介

4. 参加者 20名

内訳 中部支部 12名

宮城県情報産業振興室 2名

宮城県産業技術総合センター 3名

5. 宮城県・岩手県の視察参加者 中部支部 14名

平成21年度第1回会員企業訪問交流・見学会

1. 日時 平成21年10月7日(水) 15:00~17:00

2. 場所 (株)ミントウエーブ 名古屋オフィス

3. 参加人数 9名

3. 内容 1. 工場見学

シンクライアントの応用製品として 大型装置の操作パネルと
医療用端末 の製造現場を見学した。

2. 会社概要

・会社紹介

・シンクライアントシステム事業・ビジネスシステム事業・電力システム事業
における取扱い製品/ソリューション

・その他

10月8日には伊勢湾台風並みの大型台風が来るということを心配しながらの見学会となった。

平成21年度第2回会員企業訪問交流・見学会

1. 日時 平成21年11月12日(木) 15:00~17:00

2. 場所 ブラザー工業株式会社

3. 参加人数 13名

3. 内容 1. 工場見学

創業100年を記念して開設されたブラザーコミュニケーションスペースの見学
マシン、工作機械、事務機等の発展過程が展示説明されてあった
次世代コンテンツ配信システムEiny[アイニー]の説明と実演

2. 会社概要

・会社紹介

・パーソナル・アンド・ホーム事業、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業マシナリー・アンド・ソリューションズ事業について各事業説明

・中長期ビジョン(GV21)、ブラザー・バリュー・チェーン・マネジメント(BVCM)の説明

・その他

平成21年度第3回会員企業訪問交流・見学会

1. 日 時 平成22年2月3日(木) 15:00~17:30
2. 会 場 三幸電子株式会社 本社 会議室
3. 参加者人数 12名
- 4 内 容
 1. 挨拶 支部長 水谷 多嘉士
 2. 会社概要
 - ・会社紹介
 - ・レジャー産業向けコンピュータシステム
 - ・ファクトリーオートメーション&制御
 - ・ストアオートメーション
 - ・オフィスオートメーション
 - ・ネットワークシステムの各事業について説明
 3. 新製品見学
デモバス2台に設置された最新開発製品の見学
 - ・ホールコンピュータ
 - ・マネジメントコンピュータ
 - ・インフォメーションボード
 - ・運用端末
 - ・顔識別システム

忘年会

1. 日 時 平成21年12月17日(木) 18:30~20:00
2. 会 場 料亭 つたも
3. 参加者数 19名
4. 内 容 第5回定例会の参加者とミドル会の会員が参加した。 中堅技術者と経営者が和やかな雰囲気での情報交換、交流が図られた。

組込みシステム技術セミナー

1. 日 時 平成21年12月2日(水) 13:20~17:00
2. 会 場 名古屋国際会議場 3階 231号会議室
3. 参加人数 82名
4. 演 題
 - 1 組込みリナックスの現状とはじめ方
講師 シリコンリナックス株式会社 代表取締役 海老原 祐太郎
 - 2 組込みソフトウェアの機能安全
講師 株式会社ヴィッツ 代表取締役 脇田 周爾
東海ソフト株式会社 三重支店 係長 岡村 真吾
 - 3 組込み人材育成と組込みソフトウェア技術者試験の取組み、実績データの紹介
講師 組込みシステム技術協会 ETEC 運営事務局 近森 満

第1回講演会

1. 日 時 平成22年3月17日(木) 15:00~16:30
2. 会 場 日本電気株式会社 東海支社 会議室
3. 参加者人数 26名
4. 講演
 1. 題目 ”クラウドコンピューティング(SAAS)について”
 2. 講師 NEC ITプラットフォームマーケティング本部
グループマネージャー 泓 宏優 氏

<北陸支部>

1. 会員の異動状況

	正会員	支部会員	賛助会員	計
20年・4月	4	0	0	4
21年・3月	4	0	0	4

2. 平成21年度支部総会等の開催

支部総会等を開催し、事業活動・収支状況等について検討審議した

・支部総会

開催日時：平成21年7月2日(木) 16:00~

議 題：

- ・平成20年度事業実施状況及び収支決算状況報告
- ・平成21年度事業計画及び収支予算
- ・会員増強について

出席者：5名

・予算会議

開催日時：平成22年3月26日(金) 18:30~

議 題：

- ・平成21年度事業実施状況及び収支決算状況報告
- ・平成22年度事業計画及び予算

出席者：5名

3. 産学官連携事業

(1) 福井県が主催する「次世代IT技術開発促進事業」等への参加

(ア) 推進会議

開催日時：4月27日(月) 午後4時30分から

議 題：RFIDマッチング交流会及びSaaS交流会の開催について

参加者：10名(福井県、福井県機関及び福井県情報システム工業会会員)

(イ) ICタグ活用セミナー&マッチング交流会への参加

開催日時：6月12日(金) 午後1時から

開催場所：福井県産業情報センタービル

参加者数：108名

①セミナーは、14:00から 3氏によ次の発表があった。

- ・ICタグ活用の概要及び県の施策について

- ICタグ・コーディネーター 吉川 博 氏
- ・共同はいかにしてICタグを活用した商品を開発したか
(株)共同 代表取締役 西川 源徳 氏
- ・学習塾で父兄に安心を伝えるICタグ技術
(株)アートテクノロジー 常務取締役 中村 隆治 氏

②マッチング交流会は、大手ICタグメーカーや昨年FS調査補助事業に採択された企業グループ等を集め、ICタグ関連商品の展示・実演の実施と県内企業の技術者のための研究開発情報等の収集・意見交換を行った。

(ウ) クラウド/SaaS活用セミナー&交流会への参加

- 開催日時：7月9日(木) 15:00から
- 講師：NCA専務理事 津田邦和氏
- 演題：クラウドコンピューティングと仮想化技術がもたらすビジネスチャンス
- 参加数：セミナー100名、交流会50名
- その他：大手ITメーカー3社による自社サービスの特徴・技術PR等のプレゼンと交流会及び技術紹介コーナーも設置された。

(2) 学生との交流事業への参加

ふくい産業支援センターが主催する「県内情報サービス企業の魅力を周知し、優秀な人材確保につなげるための事業」への参加

・セミナーと交流会

- 11月10日(火) 講演・講師：まつもと ゆきひろ氏 74名参加
交流会・参加企業9社 学生23名
- 12月4日(金) 講演・講師：山 健太郎氏 154名参加
交流会・参加企業10社 学生27名

・企業探訪…3回実施

- 12月8日(火) …3社 学生18名
- 12月11日(金) …3社 学生18名
- 12月16日(水) …3社 学生18名

4. 他団体との協同事業

(1) 例会の実施

(社) 福井県情報システム工業会と合同で、次のとおり例会を開催し参加した。

第1回

- 開催月日：平成21年6月26日(金) 16:~
- 開催場所：福井厚生年金会館 2F 越前
- 例会：講演会 演題：「SI進行基準」
講師：富士通 ソリューション事業推進本部
業務部長 松川 達実 氏
参加数：34名 交流会29名

第2回

- 開催月日：平成21年9月8日(火) 16:~
- 開催場所：福井厚生年金会館 2F 越前
- 例会：講演会 演題：「IT経営に関する国の考え方」
講師：経済産業局SaaS活用基盤整備プロジェクト担当
勝瀬 典雄 氏
参加数：45名 交流会42名

第3回

- 開催月日：平成22年2月19日(金) 16:~
- 開催場所：福井県職員館 3F 302会議室

例 会：講演会 演 題：「日本のICT産業が復活する日」
講 師：(株)アイティ・ヘンジ代表取締役
鎌田 博之 氏
参加数：30名 交流会27名

第4回

開催月日：平成22年3月9日（火）16：～
開催場所：福井県職員館 3F 302会議室
例 会：講演会 演 題：「北陸地域における組込みシステム開発技術
と人材育成に関する情報交換」
講 師：北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
教授 落水 浩一郎 氏
参加数：26名 交流会22名

(2) (社) 福井県情報システム工業会理事会等への参加

(社) 福井県情報システム工業会理事会へ参加し、情報交換・交流を図るとともに、福井県施策等の実施状況等について説明・協力を依頼した。

(ア) 4月9日（木）

- ①地域イノベーションパートナーシップLocalCommunityへの参加要請
- ②平成20年度「学生とIT企業との交流促進事業」実施状況報告

(イ) 5月27日（水）

- ①ベンダ対象事業計画（セミナー、マッチング交流会、RFP研修等）の説明
- ②福井県が主催する次世代IT技術開発促進事業「ICTタグ活用セミナー&マッチング交流会」の開催案内と参加要請

(ウ) 6月26日（金）

- ①「クラウド/SaaS活用セミナー&交流会」の開催案内と参加要請

(エ) 9月8日（火）

- ①「ICTタグ活用ソリューションセミナー&マッチング交流会」の開催状況報告（6月12日開催）
- ②「クラウド/SaaS活用セミナー&交流会」の開催状況報告（7月9日開催）
- ③第2回フォローアップ会議の開催報告と情報BANKへの登録要請（8月21日開催）
- ④学生向け県内IT企業魅力発見事業（ふくい産業支援センター主催）への参加協力の要請

(オ) 12月8日（火）

- ①「地域イノベーション・パートナーシップ」福井コミュニティにおけるITベンダ対象の事業実施状況報告
 - ・ITベンダ経営研修会
 - ・マッチング交流会及びセミナー
 - ・RFP（提案依頼書）対応研修会
 - ・新公益法人制度への移行状況（JASAA等団体状況）

(3) 福井県IT産業団体連合会との合同による賀詞交歓会の開催

福井県IT産業団体連合会役員会へ出席するとともに、合同で新年賀詞交歓会を開催した。福井県幹部をはじめ産学官の有志が参会した。

開催日時：平成22年1月25日（月）

開催場所：ホテルフジタ福井 4F

講演会：演題 「IT産業再生の針路」

講師 元日経BP編集委員 田中 克己 氏

参加者数：80名

5. 地域イノベーションパートナーシップ事業への参加

(1) ローカルコミュニティ関連機関打合せへの参加

開催日時：平成21年4月17日（金） 午後1時30分から

開催場所：福井県庁会議室

議 題：福井地域の21年度事業計画及び予算の審議

(2) キックオフ会議への参加

開催日時：平成21年7月1日（水）

開催場所：アオッサ 会議室

議 題：21年度年間事業計画及び地域幹事の選任

（地域幹事には、進藤北陸支部長が就任した）

(3) 推進会議への参加

開催日時：平成22年3月19日（金）

開催場所：アオッサ 会議室

議 題：21年度年間事業計画及び地域幹事の選任

（地域幹事には、進藤北陸支部長が就任した）

(4) フォローアップ会議への参加

（財）関西情報・産業活性化センターにおいて、地域幹事が出席して開催された。

4回開催させ、コミュニティ及び推進本部から事業報告及び事業実施予定等が審議された。

6. 海外交流視察研修

7月10日（金）から4日間の日程で、ロシア ハバロフスクにおけるIT市場視察研修を実施した。

当会から4名の会員と入会候補2名の計6名により、県内からハバロフスクに進出している企業「アロック サンワ」様を訪問し、現地のIT市場の動向等について情報収集するとともに、ハバロフスク日本センターを訪問し、黒坂昭一所長及び現地のITベンチャー企業テクノベーションのヨワルスキイ・ウラジミル氏と会談し、ロシアのIT関連情報全般について意見交換を行った。

7. 「ふくいITフォーラム2009」への名義後援

福井県IT産業団体連合会が主催する「ふくいITフォーラム2009」への名義後援を行った。

開催日時：平成21年10月22日（木）～23日（金）

開催場所：福井産業会館1号館

入場者数：18,752名

8. 展示会等への出席

・21年11月19日（木） 組込み総合技術展への参加

<近畿支部>

<総括>

厳しい経済情勢が続く中、本年度の事業活動が無事終える事が出来、会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

事業委員会を拠点に、様々の活動を推進して参りました。

各委員会の活動を通じ、定例化しております各フォーラム活動や、セミナーに

於きましては、多数の経営者、社員の皆様方の参加を得ました。

経営者の参加だけでなく、社員の皆様方にも広く参加して頂く事により、会員企業の交流や業務連携が図られるとの想いが、少し実現してきたのではないかと思います。

今後も、会員企業にメリットが出せる事業を推進して参りますが、経営者の皆様のご理解とご参加並びに、幹部社員のご参集をお願い申し上げます。

4回目となりました組込み総合技術展関西（ET West 2009）の開催に於きましては、支部会員並びにご協力頂きました多くの皆様方のお陰で、無事終了する事が出来ました。

これからも、支部活動の大きな事業として、引き続き展開してまいりますので、宜しくご支援お願い致します。

近畿経済産業局情報政策課との意見交換会を定期的にもち、なかでも「中小企業支援施策の公募情報について」は、大きな成果が出せました。

今後も意見交換会を継続していき、行政との関係をより密接になる様、努めて参ります。

< 会員の異動状況 >

	正会員	支部会員	賛助会員	計
20年・4月	35	2	2	39
21年・3月	36	2	2	40

< 支部活動 >

1. 近畿支部総会

第23回通常総会開催

平成21年 4月22日（水）於：大阪産業創造館

- ・平成20年度事業報告及び収支決算報告
- ・近畿支部役員改選
- ・平成21年度事業計画及び収支予算報告

出席者：23名 委任状提出：10名

2. 常議員会

5回開催

支部事業計画に基づいた具体案の検討他、各種審議を行った。

- ① 平成21年 5月27日（水）於：大阪産業創造館 22名出席
- ② 平成21年 7月22日（水）於：京都・がんこ高瀬川二条苑
23名出席
- ③ 平成21年 9月16日（水）於：大阪産業創造館 19名出席
- ④ 平成21年 11月25日（水）於：大阪産業創造館 24名出席
- ⑤ 平成22年 2月24日（水）於：大阪産業創造館 22名出席

経済産業省近畿経済産業局との意見交換会

- ① 平成21年 5月27日（水）於：大阪産業創造館 34名出席
- ② 平成21年 9月16日（水）於：大阪産業創造館 18名出席

③ 平成22年 2月24日(水) 於：大阪産業創造館 20名出席

3. 事業委員会

支部では3つの事業委員会を置き、

- ①総務・企画委員会にて(業界経営基盤の強化、推進支援)、
 - ②技術・業務委員会にて(情報処理技術の高度化対応)、
 - ③広報・マーケット委員会にて(市場の開発と知名度向上)
- を目的に、各種活動を推進した。

4. 本部との連携による活動推進

本部活動への参加、協力、支援を行うとともに、本部の協力を得て、支部活動を活性化、相互連携を推進した。

5. 行政や他団体との連携・協調推進

官公庁及び関係諸団体との連携を継続的に行い、会員企業に有益な業界関連情報を提供した。

- ・近畿経済産業局
- ・近畿情報システム産業協議会(KISA)
- ・関西電子情報産業協同組合(KEIS)
- ・大阪科学技術センター(OSTEC)
- ・ネオクラスター推進共同体

<委員会事業活動>

1. 総務・企画委員会

(1) 総務交流フォーラム(総務諸問題研究部会)

各社管理部門担当者の人材育成、ネットワークの構築に取り組んだ。
セミナー及び懇親会を3回開催。

①平成21年 8月 3日(月) 於：大阪会館 17名出席

講演 京町法律事務所 吉田 裕樹弁護士

テーマ「景気後退下における雇用調整の法的留意点」

②平成21年11月 5日(木) 於：大阪産業創造館 15名出席

講演 京町法律事務所 吉田 裕樹弁護士

テーマ「改正労基法への実務対応」

③平成22年 3月 2日(火) 於：AP大阪 18名出席

講演 太田・石井法律事務所 石井 妙子弁護士

テーマ「“問題社員”の法的解決策」

(1) 新春IT振興フォーラム及び賀詞交歓会

- ①平成22年 1月13日(水) 於:大阪科学技術センター
・新春IT振興フォーラム
講演 大阪市立大学 学術情報総合センター所長・教授
中野 秀男氏
テーマ「情報社会の近未来を語る」～5年後、10年後、20年後～
・賀詞交歓会
近畿情報システム産業協議会加入8団体主催で開催。
236名出席(うちJASAJ近畿支部:35名)

(2) 新入社員ビジネスマナー研修

関西電子情報産業協同組合(KEIS)との共催で開催。

- ①平成21年 4月 2日～3日(2日間)

於:大阪科学技術センター

JASAJ近畿支部より9名参加

(3) 会員交流会(JASAJファミリークラブ)

全国システムハウス業厚生年金基金よりの補助事業。

平成21年10月28日(水) 於:ファンタイム・ポニーラ

オールディズ・ライブ、ビンゴゲーム、バイキング料理での交流会を開催した。 112名参加

2. 技術・業務委員会

(1) 技術交流フォーラム(ITシステム研究会)

各社技術担当者が集まり、情報収集、意見交換を行った。市場開発交流フォーラムと合同で2回開催。

(2) 会員月例会(近JASAJフォーラム)

常議員会終了後、4回開催。

会員企業間の情報・意見交換を目的に各社企業紹介を主に行った。

- ①平成21年 5月27日(水) 於:大阪産業創造館 22名出席

(株)コミュニケーション・テクノロジー 専務取締役 勝見 哲也氏ご担当

- ②平成21年 9月16日(水) 於:大阪産業創造館 18名出席

(株)アイ・ティ・エフ 開発部 富田 勉氏ご担当

- ③平成21年11月25日(水) 於:大阪産業創造館 24名出席

(株)サニ-技研 システム・ソリューション技術部マネージャ 北浦 康次氏ご担当

- ④平成22年 2月24日(水) 於:大阪産業創造館 23名出席

支部ホームページ作成プロジェクトチームリーダー (株)窓飛 大角 太志郎氏ご担当

(3) 技術セミナー

外部から講師を招き、会員企業の技術社員を対象にセミナーを4回行った。

- ①平成21年 6月24日(水) 於：大阪産業創造館 25名出席
講師 名古屋大学大学院 宿口 雅弘氏
内容 「生きてるハード、生かせるソフト、これぞ組込み」
～組込みシステムを俯瞰する～
- ②平成21年 8月26日(水) 於：大阪産業創造館 25名出席
講師 名古屋大学大学院 本田 晋也氏
内容 「マルチコア向けリアルタイムOSの動向」
- ③平成21年10月28日(水) 於：大阪産業創造館 24名出席
講師 キャッツ(株) 穴田 啓樹氏
内容 「状態遷移設計とテスト」
- ④平成22年 1月27日(水) 於：大阪産業創造館 23名出席
講師 (株)デンソー 佐藤 洋介氏
内容 「車載システム開発技術動向」

3. 広報・マーケット委員会

(1) 市場開発交流フォーラム(ビジネス開発研究部会)

交流フォーラムと懇親会を技術交流フォーラムと合同で2回開催。
会員企業を訪問、各社が抱える問題を提起、議論を行った。

- ①平成21年 6月19日(金) 於：京都コンピュータ学院 37名参加
近畿情報システム産業協議会のビジネスカンファレンスに参加
- ②平成21年 8月18日(火) 於：(株)コア 関西カパニ殿 24名参加

(2) 国内・海外視察研修

支部では「アジアのコンピュータビジネス」の実現に取り組んできた。
今年度は北九州市、韓国・釜山を視察した。

平成21年11月6日(金)～8日(日) 2泊3日

内容 北九州市学術研究都市訪問

(財)北九州産業学術推進機構の紹介(半導体技術センター
応用技術部長・田中康彦氏)、半導体技術センター紹介(半導体
技術センター長・丸田秀一郎氏)、半導体技術センター
及びカーエレセンター見学、入居企業との交流(株)アイシン・コ
ムクルーズ、新日本無線(株)、大日本印刷(株)、(株)デンソー)
北九州市経済産業局産業誘致課、(財)西日本産業振興コンベン
ション協会との交流懇親会
釜山情報産業振興院視察

参加者 2泊3日：10名、1泊2日：1名、日帰り：5名 合計：16名

4. ET West 2009(組込み総合技術展 関西)にて展示会及び カンファレンスを開催。

平成21年 6月 4日(木)～5日(金)

於：インテックス大阪
 出展社：107社・団体（151小間）
 来場者：4,511名（2日間）

5. その他活動

（1） 会員交流会

- ① 平成21年7月22日（水）於：京都・がんこ高瀬川二条苑にて懇親会
26名出席
- ② 平成21年11月25日（水）於：日本料理「光林坊」にて忘年会
29名出席

6. 経済産業省近畿経済産業局の活動

近畿経済産業局・情報政策課とは意見交換会を行っているが、5月27日（水）には「戦略的基盤技術高度化支援事業」「特定ものづくり基盤技術」の施策説明会と、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に係る認定申請についての説明会を行った。

9月16日（水）には「有効競争レビュー報告書」についての説明と、独立行政法人産業技術総合研究所・組込みシステム技術連携研究体／システム検証研究センターより「システム開発における科学的アプローチ」に関してシステムの現状とコンピュータの利用についての案内があった。

2月24日（水）には「平成22年度情報政策予算案の概要」と「平成22年度情報関係施策の概要」についての説明があった。

<九州支部>

1. 会員の異動状況

	正会員	支部会員	賛助会員	計
20年・4月	10	1	1	12
21年・3月	10	1	1	12

2. E T ロボコン 2009 九州地区大会 【第1回技術説明会及び懇親会】

- (1) 日時 平成21年5月16日（土）説明会：10:00～17:30
懇親会：17:30～19:00
- (2) 場所 福岡システムLSI総合開発センター
- (3) 参加者 参加チームは51チームの76名、委員は20名参加で計96名
- (4) 内容 今回、九州で2年目となる「E T ロボコン 2009 九州地区大会」の第1回技術説明会を開催した。福田実行委員長の挨拶の後、九州地区技術

委員等のスタッフ及びETロボコン本部からの講師1名（宮田技術委員）の進行により、説明会は無事にかつ盛大に終了した。

- * JASA 関係 顧問：池田 弥生（コア九州カンパニー社長）
実行委員長：福田 晃（九州大学大学院）
副委員長：今村 章則（コア九州）
（運営委員長）

3. 九州地域パートナーシップ協議会開催

- (1) 日時 平成21年5月25日（月）14:00～16:00
(2) 場所 西鉄グランドホテル
(3) 内容 九州各県のソフトベンダー、行政及びユーザとのマッチングについて 松尾支部長が「JASA 九州支部長名」で出席

4. 事務局長交流会議

- (1) 日時 平成21年6月12日（金）10:00～13:00
(2) 場所 JASA 本部会議室 東実年金会館8階
(3) 出席者 友貞事務局長
(4) 内容 各支部の事務局長が本部会議室に集まり、今後の事業計画や活動内容等について意見交換を行った。

5. ETロボコン2009九州地区大会 【第2回技術説明会及び懇親会】

- (1) 日時 平成21年6月13日（土）説明会：10:00～17:30
懇親会：17:30～19:30
(2) 場所 福岡システムLSI総合開発センター
(3) 参加者 参加チームは49チームの70名、委員は20名参加で計90名
(4) 内容 5月に引き続き「ETロボコン2009九州地区大会」の第2回技術説明会を開催した。牛島顧問の挨拶の後、九州地区技術委員等のスタッフの進行により、説明会は無事にかつ盛大に終了した。

6. 「九州地域組込みシステム協議会(ES-Kyusyu)」平成21事業年度 理事会・通常総会及びグリーンETセミナー・交流会の開催 ～【JASA九州支部共催】～

- (1) 日時 平成21年6月19日（金）13:00～19:30
(2) 場所 福岡SRPセンタービル 2階SRPホール

- (3) 内 容
- ① 理 事 会 [13:00~14:00]
 - ・ 松尾支部長がES-Kyusyu 理事として出席した。
 - ② 総 会 [14:00~15:15]
 - ③ セミナー [15:30~17:30]
 - ・ 講演1「エレクトロニクスの将来を考える Green Device」
望月洋介氏/日経ものづくり発行人
 - ・ 講演2「ホンダの環境への取り組み」
宮田 勝 氏/旧 帝京大学経済学部教授
 - ・ 講演3「産業界におけるCO₂ 削減の取組み」
山崎正幸氏/九州経済連合会 情報通信委員会 企画
部会長
 - ④ 交流会 [17:30~19:30]
- * JASA 本部出席者 常任理事：門田 浩（事業本部長）

7. 平成 21 年度 7 月度 常議員会

- (1) 日 時 平成 21 年 7 月 23 日（木）16:00~17:30
 - (2) 場 所 （財）九州産業技術センター 3F 会議室
 - (3) 出席者 13 名（常議員 9 名、オブザーバー 4 名）
 - (4) 議 題
 - (1) JASA 本部第 147 回、148 回、149 回 理事会報告について
 - (2) JASA 本部第 22 回 通常総会報告について
 - (3) 『ものづくりフェア 2009』への参加について
 - (4) H21 事業年度 ES-Kyusyu 理事会及び総会報告について（資料回覧）
 - (5) 『ET ロボコン 2009 九州地区大会』の状況について
 - (6) 講演：JASA 改革について（門田 JASA 本部 常任理事）
 - (7) その他：『熊本コンソーシアム』開催の通知
- 18:00 ~ 事務局交替歓送迎会（他団体からも参加）

8. ET ロボコン 2009 九州地区大会 第 1 回・第 2 回試走会

- (1) 日 時 第 1 回試走会 平成 21 年 7 月 25 日（土）9:00~18:00
第 2 回試走会 平成 21 年 8 月 22 日（土）9:00~18:00
- (2) 場 所 福岡システム L S I 総合開発センター

9. 意見交換会

(社)九州経済連合会 情報通信委員会と会合・交流会

(1) 日 時 平成21年8月5日

15時～17時 支部長 ゲスト出席

18時 交流会

(2) 議 題 情報通信におけるコンテンツについて

10. 平成21年度 9月度 常議員会

(1) 日 時 平成21年9月2日(水) 16:30～17:30

(2) 場 所 (財)九州産業技術センター 3F会議室

(3) 出席者 6名

- (4) 議 題
- (1) 『九州・国際テクノフェア2009』への参加について
出展内容と展開について
北九州市からの説明
 - (2) スポーツ交流会(基金)について
 - (3) 交流会

11. 「モノづくりフェア」 出展 (日刊工業新聞社主催)

(1) 日時 平成21年10月13日～15日

(2) 場所 マリンメッセ福岡(福岡市中央区)

(3) 内容 ES-KYUSHU 展示の一環として

- ・ キャリア形成促進助成を活用した新入社員研修のセミナー
- ・ ETEC 模擬試験及びPR
- ・ JASA 案内

12. ET ロボコン九州大会参加について

(1) 日時 平成21年10月23日 13時～15時

(2) 福岡 SRP センタービル

(3) 内容 釜山市訪問時に標記の件を持ち掛けていた所
訪問があった。

- ・ ET ロボコンの詳細説明と情報交換
- ・ 11月中に釜山市と福岡市で意見交換をする

(4) 出席者 釜山市 東義大学校 鄭 教授(工学博士)ほか1名

福岡市 担当課長ほか1名

13. JASA 支部長会議

- (1) 日 時 平成21年10月29日(木) 16:00~17:30
- (2) 場 所 沖縄 IT 津梁パーク・チサンホテル那覇
- (3) 出席者 各支部長
- (4) 内 容 パーク見学と沖縄 JASA 会員企業と状況及び情報交換
その後懇親会

14. 『九州・国際テクノフェア 2009』 出展

- (1) 日 時 平成21年11月11～13日(水～金)
- (2) 場 所 西日本総合展示場(北九州市小倉北区)
- (3) 出展社 九州支部 各社
- (4) 内 容 ・ユビキタス社会実現に向けた「情報通信、ネットワーク分野」、組み込みシステムや半導体の「ものづくり ICT 分野」、「産学連携新産業分野」等のゾーンに分かれ、基調講演会をはじめ 関連セミナーやビジネス交流会、が開催された。
また、JASA 本部の協力のもと、ETEC の模擬体験 (パソコン2台でのデモ展示) や JASA への入会勧誘、ET 展 2009 の PR 等を行った。
・当日 JaSST '09 九州も開催されスポンサーとして
JASA 九州支部も協会紹介を行った

15. 平成21年度 11月度 常議員会

- (1) 日 時 平成21年11月11日(水) 16:00~17:00
- (2) 場 所 西日本総合展示場(北九州市小倉北区)
- (4) 議 題 (1) JASA 本部 第150回 理事会報告
(4) 平成21年度 上期 活動報告
(5) " 収支報告
(6) その他(平成21年度 下期活動関係 他)
(7) 懇親会

16. 事務局移転について

- (1) 移転日 平成22年1月1日

(2) 移転先 〒814-0001

福岡市早良区百道浜3丁目8番33号

福岡LSI総合開発センター 410-3号

株)ガートデザインコーポレーション内

TEL 092-821-1100

(3) その他 引継ぎは平成21年12月18日松尾支部長、高本氏及び松田氏間で完了

17. 平成21年度 1月度 常議員会

(1) 日時 平成22年2月28日(水) 13:00~18:00

(2) 場所 レイクサイドホテル久山(粕屋郡久山町)

(3) 議題

・ -支部長挨拶 -

1. 第152回本部理事会(平成22年1月14日開催)報告について

2. 九州支部事務局移転・運営について

3. 東義大学校 e-business 学科教授 工学博士 鄭 錫賛先生
による「最近の韓国経済について」卓話

4. その他

5. 懇親会

18. 平成21年度 2月度 常議員会

(1) 日時 平成22年2月25日(水) 16:30~18:00

(2) 場所 九州産業技術センター

(3) 議題

-支部長挨拶 -

1. 事務局移転について

2. 平成22年度事業計画案及び予算について

3. 平成21年度支部収支見通し報告について

4. その他

5. 懇親会

19. 九州組込みサミット2010 IN 福岡 参加 について

(1) 日時 平成22年2月26日(金) 13:00~18:00

(2) 場所 福岡システムLSI総合開発センター

・ワークショップ1:「組込み人材育成について考える」、他
に参加し、意見交換。

20. 第2回九州地域イノベーションパートナーシップ推進会議

(1) 日時 平成22年3月1日 12時30分~13時30分

(2) 場所 博多都ホテル

九州各県の情報関係団体(12社)、各県自治体(10県・市)、九州経済局など(10機関)による意見交換会(官民連携ネットワーク)

14時～17時 九州IT大賞の授与式

17時30分～ 情報交流会

その他：

1・第8回シリコンシーベルト福岡2010大会

➤ 日時 平成22年2月23日 9時～17時

➤ 場所 オークラホテル

九州、韓国、上海、台湾、シンガポールを結ぶ核となるシステムLSI拠点における構築をめざす福岡県の取り組みについてのセミナーに出席(招待)

2・ETロボコン2010説明会(九州地区)のご案内

・JASA九州支部会員へEメールにて送信。

・その他、ES-Kyushu、Q'sフォーラム会員への配信。

3・Bulletin JASA2009 Vol. 32、33 新規会員募集を目的で配布。

・福岡システムLSI総合開発センター内IFロビーカタログコーナー常時展示。

・ES-kyushuu 幹事およびQ'sフォーラム会員、他中小企業へ配布。

4・JASA九州支部・新規会員募集目的にてJASA本部からの「各種セミナーのご案内」

他、をレガートDC保有顧客リスト(JASA九州会員外の九州組込み&IT民間企業：約1000件(人))にEメールにて配信。

配信内容：

・キャリア形成助成金適用/新規雇用社員訓練(平成22年4月期)

「組込み技術者養成コース」のご案内

・JASA/ETセミナー(機能安全シリーズ第5回)

「国際規格に基づく機械安全設計及び宇宙分野のソフトウェア安全確保の取り組み」

・サポイン事業22年度公募公告/経済産業省中小企業庁

「戦略的基盤技術高度化支援事業の公募について」

・ETEC活用セミナーのご案内

『組込み技術者育成・教育支援制度導入の手引き』

・ETロボコン2010実施説明会のご案内

・ET West 2010出展のご案内 <締切り迫る!>

・ETロボコン2010(ETソフトウェアデザインロボットコンテスト)

参加エントリー受付開始のお知らせとスポンサー募集のご案内